

CONTENTS

“絹の国”をめぐるたび……………4

GUNMA ってどんなところ？……………6

富岡……………9

富岡ってどんなところ？／10

富岡製糸場／12

製糸場の歴史／14

シルク製品／18

グルメ／20

スイーツ／24

製糸場周辺レトロ散歩／26

近隣さんぽ（富岡市、甘楽町）／28

下仁田……………33

下仁田ってどんなところ？／34

荒船風穴／36

レトロまち歩き／38

老舗・名店／40

下仁田かつ井めぐり／42

おみやげ／44

近隣さんぽ（下仁田町）／46

群馬初のジオパーク／50



●本書中のデータは 2014 年 9 月時点のものです。変更の可能性がありますので、ご利用の前にご確認ください。

藤岡……………51

藤岡ってどんなところ？／52

高山社跡／54

観光スポット／56

グルメ／58

レトロ雑貨／62

藤岡をもっと満喫／64

伊勢崎……………67

伊勢崎ってどんなところ？／68

田島弥平旧宅／70

伊勢崎銘仙／72

B 級グルメ伊勢崎もんじゃ／74

伊勢崎 de ごはん／76

お茶しませんか？／78

近隣紹介（本庄、深谷）／81・84

川さんぽ（島村渡船）／82



記号説明

- 所在地
- 電話番号
- 営業時間
- 休業日
- 金額目安
- 駐車場
- アクセス
- 問い合わせ
- 地図掲載ページ

もっとシルクカントリー……………85

ぐんま絹遺産／86

桐生の手仕事／90

中之条町六合地区／91

もっとぐんま……………93

シルク体験／94

みなかみ町でネイチャースポーツ／96

食べるシルク、大集合／98

ぐんまのパワースポット／102

ぐんまの四大温泉……………104

おすすめシルク旅プラン……………108～111

観光課・観光協会リスト……………112



富岡製糸史

明治政府が1872 (明治5) 年、日本の近代化政策の一つとして、当時の主要な輸出品であった「生糸」の品質向上と大量生産を目指して、器械製糸技術を広めることを目的に建設した。

1893 (同26) 年に三井家に払い下げられ、その後、1902 (同35) 年に原合名会社に譲られる。1939 (昭和14) 年には片倉製糸紡績株式会社 (現片倉工業株式会社) に合併。1987 (同62) 年まで生糸生産が続けられた。操業停止後も同社は、製糸場について「売らない、貸さない、壊さない」の3原則を掲げ、保存に努めた。

錦絵「上州富岡製糸場」(明治5年)



(群馬県立日本館の里所蔵)

富岡製糸場を建てた理由は…

江戸時代末期、諸外国との通商取引で主要輸出品は生糸だった。しかし、輸用量が急に増えたことで質の悪い生糸が大量に出回り、日本の生糸の評判が急落。そこで、明治政府は外国から新しい技術を取り入れると同時に、指導者を育成して質の良い生糸をたくさん作って日本を豊かにしようとの意図から、富岡製糸場が建てられた。



建設の指導者はフランス人

横浜の商館で生糸の検査人をしていたポール・ブリユナを官営模範製糸場の指導者に雇い入れた。契約を結んだ後帰仏し、富岡製糸場操業に必要な機材を購入したり、技師を雇ったりして再来日。富岡製糸場の建設のために指導をしたり、作業機器の大きさを日本人に合うように改良したり、技術指導をしたりなど製糸場稼働のために力を尽くした。



ポール・ブリユナ

こうして富岡が選ばれた!

1870 (明治3) 年、ポール・ブリユナたちは官営製糸場の候補地として、群馬、埼玉、長野の3県を調査。①繭の原産地で大量の繭が確保できる②広い敷地が確保できる③住民から外国人がリードする製糸場に賛成を得られた④製糸に必要な水が確保できる⑤蒸気エンジンの燃料となる石炭が近くで得られる一などの要件がそろっていたことから、富岡への建設が決まった。



たくさんの糸車が
速く回っている様子は、
わが国の繁栄につながるだろう



記念碑には
明治天皇の皇后が詠った
和歌が刻まれているよ